

ほっかいどう

7
月号

July 2025

vol.262
令和7年6月発行

その先の、道へ。北海道 Hokkaido. Expanding Horizons.

特集

ウポポイ5周年 ~アイヌの世界と出会う場所~



画像提供: (公財)アイヌ民族文化財団

アイヌ民族とウポポイ

アイヌ民族は日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族です。日本語と系統の異なる「アイヌ語」をはじめ、自然界すべての物に魂が宿るとされている「精神文化」、祭りや家庭での行事などで踊られる「古式舞踊」、独特の「文様」による刺しゅう、木彫り等の工芸など、固有の文化を発展させてきました。

「ウポポイ(民族共生象徴空間)」は日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興・創造等の拠点となるナショナルセンターであり、我が国が将来に向けて、先住民族の尊厳を尊重し差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴として整備され、7月12日に開業5周年を迎えます。



「ウポポイ」:
アイヌ語で
「(おおぜいで)
歌うこと」
を意味する愛称。



ウポポイ
PRキャラクター
トウレツポん
トウレツ:アイヌ語で「オオウバユリ」の意味。

特集を
動画で!

今号の速ヨミ!

今号の特集を動画で時間をかけずにチェックできる「速ヨミ!」。右下の二次元コードを読み取るだけで、いつでもどこでも北海道の「今」を知ることができます。音声付きなので文字が読みづらい方にもおすすめです。

動画は右の二次元コードから



イランカラッテ。私どもが運営しておりますアイヌ文化の復興と創造の拠点「ウポポイ」は、本年7月で開業5周年を迎えます。これまでの間、たくさんのお客様にご来場いただきました。イヤイライケレ！ウポポイは、これからもアイヌ文化の魅力に触れる多彩なプログラムを提供してまいりますので、ぜひお越しください。ウポポイにお越しいただいた皆さまが、アイヌ文化に触れていただくことを通じ、多様な文化を尊重し合い、共生する社会の大切さに思いを致していただければと願っています。

※イランカラッテ(アイヌ語でのあいさつの言葉)
※イヤイライケレ(アイヌ語での感謝の言葉)

公益財団法人アイヌ民族文化財団
理事長 常本 照樹



「ウポポイ」の開業5周年おめでとうございます。ウポポイでは、5周年を記念するイベントや入場割引など多くの企画が準備されていますので、これを機に、たくさんの皆さまにご来場いただければと思います。また、道内には、ウポポイの他にも、アイヌ文化ゆかりの地域や施設が数多くあります。多くの皆さまに各地を訪れていただき、アイヌ民族の歴史や文化について知り、その豊かさや魅力を、ぜひ、感じてください。

北海道知事 鈴木 直道

広報紙

ほっかいどう
クイズ

特集 ウポポイ5周年

広報紙「ほっかいどう」では、プレゼントが当たるクイズ企画を実施。問題は特集から出題します。右の二次元コードからアクセス!



WEB限定
コンテンツ
公開中!

広報紙
「ほっかいどう」
ウェブサイト



北海道広報番組



特集 ウポポイ5周年

STVテレビ
令和7年6月22日(日)
13時00分~(予定)

番組を見逃した方は
こちらからご覧いただけます。>>



MC▶ハンバーガーボーイズ

特集

ウポイ5周年 ~アイヌの世界と出会う場所~

今年7月に開業から5周年を迎えるウポイでは、園内のさまざまなプログラムや、国立アイヌ民族博物館での展示など、アイヌ文化の多彩な魅力に触れることができます。

ウポイ(民族共生象徴空間)でできること

触れる

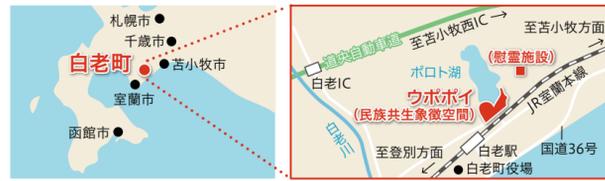
芸能・食・ものづくりなどの体験を通じてアイヌ文化に触れていただけます。

感じる

言語や信仰など独自性を有するアイヌ文化の魅力を五感で感じていただけます。

考える

「共生」を考える足掛かりとして、アイヌ民族に関する歴史や文化などを多面から学んでいただけます。



入場料(ウポイ1日券)
【大人】(一般)1,200円 【高校生】(一般)600円 【中学生以下】無料
【大人】(団体)960円(20名以上の場合) 【高校生】(団体)480円(20名以上の場合)
14時から来場される方は、割安な入場料(半額)でお楽しみいただけます。
(団体割引は適用しません。他の割引との併用はできません。)
※有料の体験プログラムや博物館の特別展示の料金は含みません。

交通アクセス
【高速道路】道央道 白老ICから車で約10分(有料駐車場あり)
【JR】白老駅北口から徒歩約10分
お問い合わせ (公財)アイヌ民族文化財団(ウポイ内) TEL:0144-82-3914



▲その他詳細は公式ウェブサイトから

アヌココロ ウアイヌココロ ミンタラ 国立民族共生公園

自然の中で培われてきた先住民族アイヌの文化を五感で感じる事ができる体験型フィールドミュージアムです。

①体験学習館(ヤイハノッカラ チセ)



教育旅行等の体験活動や、調理体験、弓矢体験(別館)などができる施設です。

②体験交流ホール(ウエカリ チセ)



国の重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「アイヌ古式舞踊」などのアイヌの芸能を上演します。

③伝統的コタン(テエタ カネ アン コタン)



かやぶきのチセ(家屋)群が再現され、アイヌ民族の伝統的な生活空間を体感でき、暮らしや文化を学ぶプログラムもあります。

④工房(イカラ ウシ)



スタッフによる実演を見学できるほか、木彫、刺しゅう、楽器演奏の体験もできます。



※画像はイメージです

アヌココロ ウアイヌココロ ミンタラ 国立民族共生公園

アヌココロ アイヌ イコロマケナル 国立アイヌ民族博物館

先住民族アイヌの歴史と文化を主題とした日本初・日本最北の国立博物館です。

⑤エントランス棟・歓迎の広場(ホッキアン チセ・ウエランカラ ミンタラ)



アイヌ文化由来の創作料理や軽食、オリジナルスイーツが楽しめる飲食店があります。

⑥基本展示室(イコロ トップ)



「ことば」「世界」「くらし」「歴史」「しごと」「交流」のテーマをアイヌ民族の視点で紹介しています。

⑥ミュージアムショップ(イコロマケナル イホウ ウシ)



アイヌ民族の工芸品や博物館オリジナルグッズなどを購入できます。

⑥シアター(イノカヌカラ トップ)



高精細・大画面映像によりアイヌ文化を多様なテーマでわかりやすく学べます。

画像提供:(公財)アイヌ民族文化財団

interview

アイヌ文化の魅力についてうかがいました



アイヌ文化伝承者 合同会社katakak代表社員 **関根 摩耶**さん
アイヌ文化が深く根付いた平取町二風谷で生まれ育ち、ラジオパーソナリティーなどの幅広い活動を通じて、アイヌ語や文化を広めている。

ここ数年でアイヌ文化に対する認識が少しずつ変わってきていると感じています。「格好いい」「素敵だね」と捉えて、学ぼうとしてくれたり、近づこうとしてくれる方も増えていて、そのことによって、アイヌ文化の魅力の伝え方も変わってきています。

アイヌ文化といえば、「自然との共生」「歌や踊りが素敵」「言語が特徴的」「文様がきれいな」など、どれか1つに凸われた形で理解されることが多いのですが、私の中では、すべての要素はつながっていて、これらを掛け合わせることで、もっとストーリー性やワクワクする感情を与えることができるのではと考えています。これからも、アイヌ文化の本質的な魅力をいろいろな形で伝えていきたいです。

インタビュー動画を配信中!



ウポイ開業5周年記念イベント

ウポイ祭2025開催 期間:7月12日・13日

アイヌ古式舞踊や江差追分の披露、チェオオハウ(魚の汁もの)やにしん三平汁の試食など、芸能や食を通じたコラボレーションイベントを開催

国立アイヌ民族博物館 5周年記念展示

前期:7月5日~8月31日、後期:9月13日~11月16日
第10回特別展示「開館5周年記念 ウィーン万国博覧会とアイヌ・コレクション」

展示資料(例)



頭巾 Staatliche Museen zu Berlin, Ethnologisches Museum/I A 4750



▲詳しくは国立アイヌ民族博物館ウェブサイトへ

ウポイPRキャラクター「トウレツポン」ぬいぐるみを抽選で10名様にプレゼント!



応募期限/7月31日(木)必着

応募方法 住所、郵便番号、氏名、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先 〒060-8588(住所不要)北海道アイヌ政策課「広報紙ほっかいどう7月号トウレツポンプレゼント」係

右の二次元コードからも応募いただけます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



共生社会の実現に向けて

アイヌの方々、自然の豊かな恵みを受けて独自の生活と文化を築き上げてきました。

アイヌの方々の習慣や文化を尊重し互いに思いやり、支え合いながら豊かで幸せな社会を築いていくことが大切です。

北海道は、アイヌの方々を民族としての誇りを持って生活ができ、その誇りが尊重される共生社会の実現に向けて取り組んでいます。皆様のご理解をお願いします。

ウポイ5周年にあわせて道では、次のイベントを実施します。

●**アイヌ文化発信ミニイベント**(道庁1階ロビー) 期間:7月10日・11日 内容:パネル展示・工芸品展示など
●**アイヌ文化振興イベント**(赤れんが庁舎) 期間:7月25日・26日 内容:アイヌ舞踊等披露、工芸品展示販売、アイヌ文化体験など



▲詳しくは道ウェブサイトへ

特集に関するお問い合わせ/道庁アイヌ政策課 TEL.011-206-6024

広告

Pick Up! 地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

北海道内市町村
広報紙(誌)ページ
へのリンク集



旭川市 「アイヌの心 伝えます」川村カ子トアイヌ記念館



アイヌ民族文化の正しい伝承を目的に大正5(1916)年に開設された資料館で、貴重な資料が数多く展示されています。伝統楽器「ムックル」の演奏やアイヌ文様の刺しゅうなど、さまざまな体験プログラムを通じて、アイヌの暮らしや心に触れてみませんか。

お問い合わせ/川村カ子トアイヌ記念館
TEL.0166-51-2461



釧路市 阿寒湖アイヌシアター「イコロ」



アイヌの文化を体感できる阿寒湖アイヌシアター「イコロ」では、ユネスコ無形文化遺産に登録された「アイヌ古式舞踊」や、映像や現代舞踊の演出を加えた「ロストカムイ」などの演目を鑑賞いただけます。アイヌが語り継いできた「イコロ(宝)」を、伝統の歌と踊りで迫力満点に表現します。

お問い合わせ/阿寒アイヌ工芸協同組合
TEL.0154-67-2727



新たな視点で学びを深める道内の高校生の話題をお届けします。

高校生のマナビバ

系統的に学ぶ「アイヌ文化」



北海道平取高等学校2年 村下 陽音さん(左) 長安 良春さん(右)

北海道平取高等学校では、独自科目「アイヌ文化」を導入し、地域のアイヌ文化継承者等の方を講師に招き、アイヌの文化や歴史について、理解を深める授業を行っています。地域の力を活用し、アイヌ文化の学習を系統的な学びとして深化させている同校の取り組みを紹介します。

アイヌ文化への理解を深め、多様性や共生について考える

授業では、アイヌ語を学んだり、アイヌ文様の刺しゅうや伝統料理の調理など、さまざまな体験を通じて、アイヌ文化への理解を深めています。すべてのものに感謝しながら生きるというアイヌの考え方がありますが、大切にしなければならぬ視点だと感じました。この授業を通じてさまざまな気づきがあり、いろいろな国や民族の方々の多様性や共生について考えるきっかけになりました。



アイヌ伝統料理作り

さらに詳しく!
記事はこちら! ▶▶▶



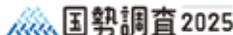
北海道からのお知らせ

道庁からのお知らせなどをお伝えします。詳しくは、各ウェブサイトをご覧ください。

はじまります! 令和7年国勢調査

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、5年に一度の重要な統計調査です。調査期日は10月1日(水)。9月20日(土)以降に調査員が各世帯を訪問します。簡単便利なインターネット回答も可能です。皆さまのご協力をお願いします。

道庁統計課
TEL.011-204-5144



7月17日は「北海道みんなの日」(愛称「道みんなの日」)

7月17日は北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える「北海道みんなの日」です。道では、この日を中心に道内各地でさまざまな取り組みを行いますので、北海道の歴史や文化、豊かな自然や風土など北海道の魅力を見つけてください。

道庁道民生活課
TEL.011-204-5211



「2025サイエンスパーク」を開催します!

8月6日(水)、北海道大学高等教育推進機構にて、こども向け科学イベント「2025サイエンスパーク」を開催します! ドローン操縦や鉱物の標本づくりなど、楽しく学べる体験が盛りだくさん。参加は無料で、夏休みの自由研究にもぴったり! ぜひご参加ください。

道庁科学技術振興課
TEL.011-206-6478



北海道戦没者追悼式を開催します

7月30日(水)、北海道立総合体育センター(北海きたえーる)で北海道戦没者追悼式を開催します。当日は2階講堂で平和祈念企画展も実施します。平和祈念企画展は事前申込なしで、どなたでもご入場できますので、ぜひご来場ください。

道庁地域福祉課
TEL.011-204-5269



北海道立北の森づくり専門学院生徒募集

林業・木材産業の盛んな旭川にキャンパスを設け、道内各地で実践的な教育を行っている「道立北の森づくり専門学院(北森カレッジ)」では、2026年度生を募集します。豊かな森林を守り育てるスペシャリストを目指しませんか。

道立北の森づくり専門学院教務課
TEL.0166-75-6163



熱中症を防ぎましょう

熱中症は、屋外での活動やスポーツ中だけでなく、温度や湿度が高い場合など室内でも発症することがあります。特に高齢者や、子どもは脱水症状が起こりやすいので、こまめな水分・塩分補給など、熱中症予防に努めましょう。

道庁地域保健課
TEL.011-204-5257



北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎) 7月25日(金)リニューアルオープン!

赤れんが庁舎は、2019年からの大規模改修工事を終え、北海道の歴史・文化・観光情報の発信拠点として、より魅力的な施設に生まれ変わります。樺太関係資料室や北方領土展示室など、館内施設も全面的にリニューアルし、見逃せないスポットが満載です。

赤れんが庁舎の歴史~長官室~



重要文化財として指定を受けた当時(昭和44年)の状況を再現。

アイヌ文化と歴史



アイヌ古式舞踊の上映や工芸品の展示などアイヌ文化を紹介するほか、その歴史も紹介。

北海道の遺産・文化



自由に散策しながら北海道各地の遺産や北海道独自の歴史文化を楽しめる展示。

お問い合わせ

[北海道庁旧本庁舎指定管理者]

北海道赤れんが未来機構 TEL.011-206-8390

赤れんが庁舎
公式HP▶



道庁HP▶



■開館時間/8:45~21:00 ■休館日/11月16日、12月29日~1月3日

■入館料/一般 300円、大学生・高校生 200円、中学生以下無料

一般団体 270円(20名以上の場合)、大学生・高校生団体 180円(20名以上の場合)

抽選で20名様に当たる!

おいしい道産品プレゼント

JA新はこだて
「函館育ち ふっくりんこ蔵部2kg」

道南を代表するブランド米「ふっくりんこ」。ほんのり甘く、ふっくら、つやつやな炊き上がり。安定した「うまい」と「安心」をお届けいたします。

応募期限/7月31日(木)必着



応募方法

本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先

〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課
「広報紙7月号 おいしい道産品プレゼント」係

右の二次元コードからも応募いただけます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



次号のお知らせ

次号は9月25日(木)に配布予定です

令和7年4月末時点
北海道の総人口

5,018,909人(前年同月より49,803人減)

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



この広報紙は
環境に優しい
植物性インキを
使用しています。



古紙/パルプ配合率100%再生紙を使用

広告掲載を希望
される場合は、
道庁広報広聴課へ
お問い合わせください。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796